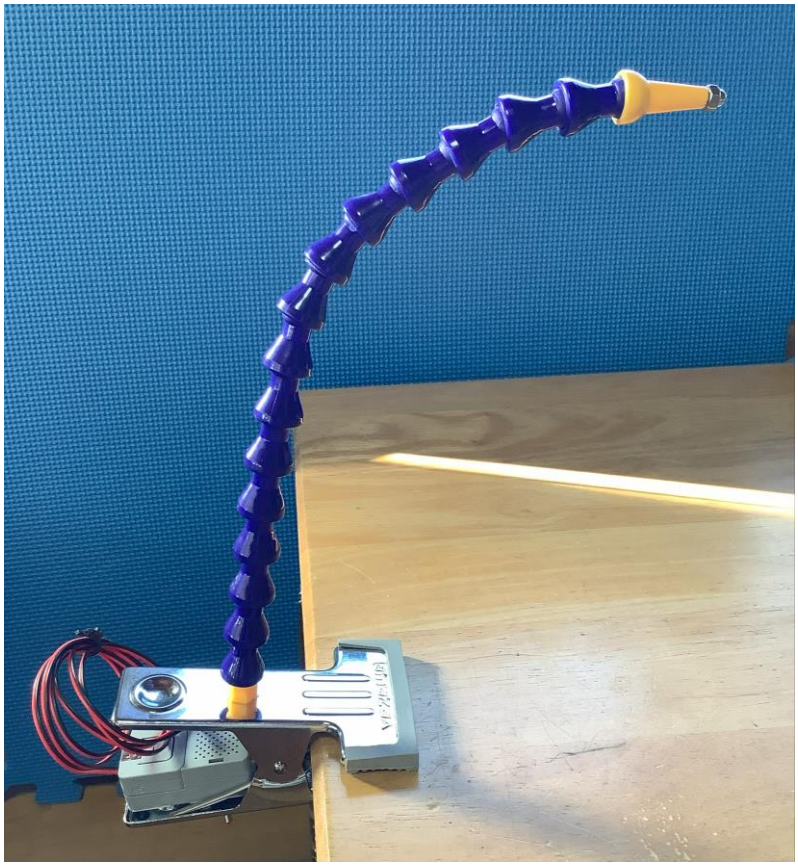
タッチスイッチ取扱い説明書

１．概要

①本スイッチは、M5stak ATOM Liteのタッチセンサー機能を利用したタッチスイッチです。
　外部電源としてモバイルバッテリーを使用します。
②外部電源(モバイルバッテリー)とは添付のUSB-A→USB-Cのケーブルでつなぎます。
③電源スイッチはありません。電源のON/OFFはUSBケーブルの抜き差しで行ってください。
④タッチスイッチの出力は、Φ3.5mmのモノラルプラグによる無電圧接点出力および
　Bluetooth接続によるキーボードの[Enterキー]の送出ができます。
⑤タッチスイッチがONになった時は、操作音(（800Hz、0.1秒)とLEDの点灯(青色)で
　知らせます。
⑥操作音､Bluetooth接続共にタッチスイッチ制御部のボタン操作によりON/OFFができます。



２．仕様

・全長　約30cm（クリップ部含まず）
・クリップ部は、約3cmの厚さまでクリップ可能
・センサー部：M4袋ナット(SUS製)
・出力プラグ：無電圧接点出力、コード長：約1m　直流30V、2AまでON/OFF可能
　※出力はタッチしている間、ONになります。（1ショット出力ではありません。）
　※Bluetooth接続の有無にかかわらず、出力は出ます。
・Bluetooth：　Bluetooth LE（BLE4.0相当）
・電源：USB出力のモバイルバッテリー（市販品：イヤホンの充電も可能な小電力モードのあるもの）またはUSB出力のACアダプター
　※舌などでの操作の場合は感電が怖いので、USB出力のACアダプターは絶対に使用しないでください。
・消費電力：Bluetooth接続時：約550mW（5V、110mA）

タッチスイッチ制御部の説明

動作状態	色
電源ON	赤
出力ON	青
Bluetooth接続未確立	黄
Bluetooth接続確立	紫

(*1)動作変更用ボタンは、タッチスイッチの操作音とBluetooth接続の
切替を行う時に使用します。
初期設定では、操作音：ON　Bluetooth接続：OFFです。
変更した場合は、次回起動時もその状態が維持されます。

ボタン操作	動　　作
動作変更用ボタンを 短押し(０.５秒程度)	押す度に操作音の ON/OFFが切替わる
動作変更用ボタンを 長押し(２秒以上)	押す度にBluetoothの ON/OFFが切替わる

※ボタンの短押し、長押しの判断は１秒を基準としています。

※使用上の注意事項

・フレキシブルパイプの根元に大きな力を掛けないでください。
・曲げる時は、一つ一つの連結部の角度をを少ずつ変えていって、タッチ部が
目的の位置に来るようにセットしてください。